

平成 23 年度事業報告

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

I. 糖尿病に関する調査及び研究 (定款第 5 条 1)

- ①糖尿病関連検査の標準化に関する調査研究
- ②1 型糖尿病に関する調査研究
- ③日本を含めたアジア地域のメタボリックシンドロームの臨床像の把握およびその原因解明に関する調査研究
- ④アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究
- ⑤東日本大震災からみた災害時の糖尿病医療体制構築のための調査研究

II. 糖尿病に関する学術講演会、討論会及び研究会の開催 (定款第 5 条 2)

1. 第 54 回年次学術集会

会 長 羽田勝計 (旭川医科大学内科学講座 (病態代謝内科学分野))

会 期 平成 23 年 5 月 19 日 (木) ～5 月 21 日 (土)

会 場 さっぽろ芸術文化の館、札幌市教育文化会館、ホテルロイトン札幌ほか

参加者 9,200 名

○会長講演 糖尿病と合併症：克服への Prospects

○特別講演 あたりまえの暮らしを求めて

○学会賞受賞講演

ハーゲドーン賞 糖尿病の統合的理解を目指した血糖降下薬の基礎的・臨床的研究

リリー賞 ①糖尿病における膵β細胞代謝一分泌連関障害の分子機構

②膵島におけるインスリン開口分泌機構の可視化解析

○緊急シンポジウム

災害時の糖尿病医療

○特別セッション

災害時のチーム医療

○シンポジウム

1. IDF の新しい 2 型糖尿病の治療のアルゴリズム アジアへの適応は 他 21 題

○ワークショップ

1. =CDEJ の未来=更なる資質を高め、社会的地位の向上を目指して

○教育講演

1. 1 型糖尿病の病態と予防 他 11 題

○Debate Session

日本人 2 型糖尿病の主病態は、インスリン抵抗性かインスリン分泌不全か? 他 5 題

○糖尿病劇場・特別シンポジウム

糖尿病医療学 糖尿病診療のサイエンスとアート：糖尿病劇場

○一般演題 2,281 題

2. 第46回「糖尿病学の進歩」

世話人 佐藤 讓 (岩手医科大学糖尿病代謝内科)

会期 平成24年3月2日(金)・3日(土)

会場 岩手県民会館、盛岡グランドホテル (盛岡市)

参加者 3,066名

1) 第1日目

A会場

○レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (1)

1. 糖尿病の概念と診断基準

他4題

○シンポジウム：コーチング技法などを用いてエンパワーメント
理念に基づく患者支援を促進する

1. エンパワーメントをめざす私の方法と実践 ～看護師の立場から～

他3題

B会場

○レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (2)

1. 食事療法はなぜ必要か 食餌療法 ～ 食事療法 ～ 栄養療法

他10題

C会場

○シンポジウム：糖尿病神経障害臨床の最前線

1. 糖尿病神経障害の症候学：早期診断と予防・管理のために

他4題

○ワークショップ：動脈硬化の診断の進歩

1. 血管機能と糖尿病1 (PWV, CAVI)

他3題

○レクチャー：糖尿病診療に必要な知識 (1)

1. 心血管疾患発症阻止を見据えた良質な血糖管理

他2題

D会場

○ワークショップ：世界と日本の大規模研究からわかったこと

1. DCCT, UKPDS

他5題

○シンポジウム：インクレチンと糖尿病合併症

1. インクレチン療法 総論

他4題

E会場

○レクチャー：臨床医がわかる糖尿病研究の進歩

1. インスリン抵抗性の分子機構

他10題

F会場

○レクチャー：研究成果発信の勧め

1. 糖尿病学会誌「糖尿病」への投稿の勧め

他4題

2) 2日目

A会場

○レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (3)

1. 妊娠と糖尿病

他4題

○シンポジウム：カーボカウントの理論と実際

1. 医学的な観点からのカーボカウントの理論について

他3題

B会場

○レクチャー：糖尿病診療と療養指導に必要な知識 (4)

1. 糖尿病網膜症の成因

他10題

C会場

○特別セッション：東日本大震災から学んだ災害時の糖尿病対策

1. 日本糖尿病学会アンケート調査結果から見えるもの

他4題

○市民公開講演会：糖尿病の新しい治療

1. 膵臓ベータ細胞を元気にするクスリ

他2題

D会場

○シンポジウム：小児・思春期糖尿病のケアと問題点

1. 小児科の立場から一都会で診察する立場から一

他4題

○シンポジウム：糖尿病腎症臨床の最前線

1. 糖尿病性腎症とCKD—問題点と解決法 (新しいCKD分類を含む)

他4題

E会場

○レクチャー：糖尿病診療に必要な知識 (2)

1. Cペプチドインデックスを用いた最適治療の選択

他10題

3. 地方会活動

1. 第45回日本糖尿病学会北海道地方会
会期 平成23年11月23日(祝)
会場 札幌プリンスホテル国際パミール
会長 島本 和明(札幌医科大学学長)
参加者 684名

2. 第49回日本糖尿病学会東北地方会
会期 平成23年11月5日(土)
会場 仙台国際センター
会長 岡 芳知(東北大学大学院医学系研究科分子代謝病態学分野)
参加者 815名

3. 第49回日本糖尿病学会関東甲信越地方会
会期 平成24年1月21日(土)
会場 都市センターホテル、JA共済ビルカンファレンスホール
会長 小沼 富男(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター
糖尿病・内分泌内科)
参加者 2,143名

4. ①第83回日本糖尿病学会中部地方会
会期 平成23年4月2日(土)
会場 富山国際会議場
会長 戸邊 一之(富山大学第一内科)
参加者 480名

②第84回日本糖尿病学会中部地方会
会期 平成23年10月22日(土)
会場 名古屋国際会議場1号館3Fおよび4号館3F
会長 押田 芳治(名古屋大学総合保健体育科学センター保健科学部)
参加者 850名

5. 第48回日本糖尿病学会近畿地方会
会期 平成23年10月29日(土)
会場 大阪国際会議場
会長 花房 俊昭(大阪医科大学内科学I)
参加者 2,186名

6. 第49回日本糖尿病学会中国・四国地方会
会期 平成23年11月11・12日(金・土)
会場 アスティとくしま
会長 松本 俊夫(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体情報内科学)
参加者 950名

7. 第49回日本糖尿病学会九州地方会
会期 平成23年10月14・15日(金・土)
会場 アクロス福岡

会 長 高柳 涼一（九州大学大学院医学研究院病態制御内科学）
参加者 2,030 名

4. 分科会活動

- 1) 第 26 回日本糖尿病合併症学会
会 期 平成 23 年 10 月 14・15 日(金・土)
会 場 大宮ソニックシティ
会 長 川上 正舒（自治医科大学附属さいたま医療センター）
参加者 900 名

III. 会誌、研究報告、研究資料及び図書の刊行（定款第 5 条 3）

1. 会誌「糖尿病」第 54 巻 4 号、サプリメント 1（抄録集）～第 55 巻 3 号まで、13 回発行
会誌 Diabetology International
2. 糖尿病患者向け指導書

①糖尿病食事療法のための食品交換表 第 6 版	100,000 部発行
②糖尿病治療の手びき 改訂第 55 版	50,000 部発行
③糖尿病性腎症の食品交換表 第 2 版	増刷なし
④糖尿病食事療法のための食品交換表 CD-ROM 版(ver.4)	1,000 部発行
⑤糖尿病性腎症の食品交換表 CD-ROM 版(ver.2)付き	増刷なし
⑥Food Exchange List	500 部発行
⑦糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編	5,000 部発行
3. 医師、コ・メディカル向け指導書

①こどもの糖尿病・サマーキャンプの手引き 第 3 版	増刷なし
②糖尿病食事療法指導のてびき 第 2 版	増刷なし
③糖尿病療養指導の手びき 改訂第 3 版	増刷なし
④糖尿病治療ガイド 2010	10,000 部発行
⑤糖尿病学用語集 第 3 版	増刷なし
⑥糖尿病遺伝子診断ガイド 第 2 版	増刷なし
⑦糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 4 版	増刷なし
⑧小児・思春期糖尿病管理の手びき 改訂第 3 版	2,500 部発行
⑨糖尿病学の進歩 45 集	1,200 部発行
⑩糖尿病の療養指導 2011	1,200 部発行
⑪科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010（改訂第 3 版）	3,000 部発行
⑫Treatment Guide for Diabetes 2007	増刷なし

IV. 糖尿病専門医制度に関する事業（定款第 5 条 4）

- 1) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設の認定
申請者(専門医 265 名、研修指導医 64 名、認定教育施設 29 施設、および専門医更新 583 名、研修指導医更新 222 名、認定教育施設更新 99 施設)の認定承認を行った。
(詳細は糖尿病 55 巻 1 号に掲載)

V. 内外の関係団体等との連絡および提携（定款第 5 条 5）

- 1) IDF-WPR Council Meeting（2011.12.2, Dubai, UAE）への出席
- 2) IDF General Council Meeting（2011.12.3, Dubai, UAE）への出席
- 3) 第 47 回全国糖尿病週間の共催

期 間 平成 23 年 11 月 14 日～20 日

テーマ 「連携による糖尿病治療の継続」

- 4) 日本糖尿病協会への協力
「さかえ」および「つぼみ」発行の企画等
- 5) 世界糖尿病デーへの参加
第 5 回「世界糖尿病デー」関連イベントの開催

VI. 国民に対する糖尿病診療に関する情報の提供および啓発（定款第 5 条 6）

- 1) 「メタボリックシンドローム撲滅運動キャンペーン」
平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
- 2) より良い特定健診・保健指導のためのスキルアップ講座 平成 23 年 6 月 19 日・6 月 26 日
- 3) 世界口腔保健学会大会記念 「第 17 回口腔保健シンポジウム」 平成 23 年 7 月 9 日
- 4) 第 4 回 JSDEI セミナー「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」
平成 23 年 7 月 31 日
- 5) 第 28 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー 平成 23 年 8 月 27 日～28 日
- 6) 平成 23 年度「糖尿病シンポジウム」 平成 23 年 9 月 10 日・10 月 15 日
- 7) 食と生命のサイエンス・フォーラムーコーヒーと糖尿病についての最新知見ー
平成 23 年 11 月 2 日
- 8) 第 11 回日本先進糖尿病治療研究会 平成 23 年 11 月 19 日
- 9) 第 23 回分子糖尿病学シンポジウム 平成 23 年 11 月 26 日
- 10) 糖尿病予防キャンペーン 西日本地区講演会 平成 23 年 11 月 20 日
- 11) 平成 23 年度「食育健康サミット」 平成 23 年 12 月 1 日
- 12) 第 23 回日本糖尿病性腎症研究会 平成 23 年 12 月 3 日～4 日
- 13) 東京新聞健康講座「おいしい食事で糖尿病を予防しよう」 平成 23 年 12 月 11 日

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条 7）

1. 功労賞および研究奨励・研究業績の顕彰

坂口賞は柴田昌雄会員、田中剛二会員に、

学会賞ハーゲドーン賞は

加来 浩平（糖尿病の統合的理解を目指した血糖降下薬の基礎的・臨床的研究）

学会賞リリー賞は

藤本 新平（糖尿病における膵β細胞代謝ー分泌連関障害の分子機構）

高橋 倫子（膵島におけるインスリン開口放出機構の可視化解析）

の各会員にそれぞれ授与した。

第 1 回若手研究奨励賞は

笹子 敬洋（新規小胞体ストレス調節因子 Sdf2l1 による肝臓でのインスリン感受性調節作用の検討）

畠山 裕康（一分子動態計測系に基づくインスリン応答性 GLUT4 輸送システムの分子基盤解析）

西村 智（生体分子イメージングでみる肥満脂肪組織炎症・局所免疫異常）

栗澤 元晴（アディポネクチンによる新たなインスリン感受性亢進作用の同定）

野村 和弘（転写コアクチベーター PGC1α の新規アイソフォーム PGC1α b/c の機能解析）

の各会員にそれぞれ授与した。（順不同）